



海軍少將正五位勲三等松村正命
特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲三等松村正命
叙從四位

右謹
明治廿九年四月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

明治廿九年四月三十日

内閣書記官

内閣總理大臣

大

内閣書記官長

大

海軍少將五位勲三等松村正命ハ明治元年
以来軍務ニ從事シ諸艦艦長ニ歴任シ佐賀
ノ役及廣見島ノ役等ニ於テ功勞サシトセズ殊ニ
日清戦争ニ関シテハ呉鎮守府海兵團長同府
軍法會議判士長ノ職ヲ奉シ功勞顯著タル者
ノ歟目下病氣危篤ノ趣存現今豫備ニ候得
共在職中ノ功ヲ録セラレ特ニ位一叙進メニ然
ルヘシ

内

閣

海軍少將正五位勲三等松村正命

右ハ明治元年以來軍務ニ從事シ諸艦
 艦長ニ歴任シテ其功勞顯著ノ者ニ有之候
 處頃日ニ至リ病患危篤ニシテ殆ント快
 癒ノ望無之然ルニ本人儀ハ佐賀ノ役及
 鹿兒嶋ノ役等ニ從事シ各功勞アリ殊
 日清戦争ニ關シテハ召集ヲ令シ吳鎮
 守府海兵團長同府軍法會議判士長
 等ノ職ヲ奉シ召集解除ニ際シ被任海
 軍少將尚ホ戰役ノ功ニ依リ旭日中綬章
 及金貨ノ授賜アリ其功績顯著ナル者
 有之候處現今豫備ニ有之候得共在

海軍

職中ノ功勞ニ對シ特別ヲ以テ位一級進メ
 從四位ニ叙セラレ度謹テ奏ス

明治二十九年四月二十日

海軍大臣侯爵西鄉從道



裏面白紙

290

海軍少將松村正命病氣危篤
二付特別ヲ以テ位一級進ノラレ
度別紙上奏書進達ス
明治二十九年四月二十日
海軍大臣侯爵西郷從道
内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

海軍